

住民の立場で はっきりものを言い しっかり働く

安心して暮らし続けられる下京へ一緒に

今、下京のまちは、国と京都府、京都市による観光中心の政策により異常なホテル、ゲストハウ斯拉ッシュで住民は安心して住み続けられない事態が進んでいます。住んでよし・訪れて良しの未来の京都のまちを再生するために全力を尽くします。



府会

日本共産党

京都府議会議員:4期

西脇いく子

プロフィール ● 府議4期目、府民生活・厚生、総務・警察、文化・教育などの常任委員を歴任。佛敎大学社会福祉学科卒業。あらかさ保育園・岸和田障害者共同作業所勤務。医療法人西七条厚生会理事、企業組合しんまち・下京民商・下京料飲組合各顧問。1957年広島県神石高瀬生まれ、61歳。家族・夫と息子2人・ネコ1匹

西脇いく子

西脇いく子さんに
期待します。

「なんで、西脇さん!」即座に「嘘つかはらへんから」今の政治、2枚舌が多すぎて、信用ならない。戦争しない国、原発、子育て・教育、まちづくり、私ごとなら「消費税」も考えれば彼女に行きつきます。さあ、西脇さんとともに、私も行動を。
七条第三学区在住 古澤 房子さん



府議会議員

西脇いく子のお約束



2兆1千億円の
北陸新幹線より

- ▶ 中学校卒業まで医療費無料化を
- ▶ 小学校と同じ全員制の中学校給食と完全無償化を
- ▶ 京都府独自の給付制奨学金創設を
- ▶ 国保料と介護保険料のひき下げを
- ▶ 京都府老人医療助成(マル老)制度を元の1割負担に
- ▶ 住宅改修助成制度制定など防災・地域経済優先に

みなさんと力あわせ、願い実現!

子どもの医療費無料化の拡充が進みました

子育てママたちの声と運動を力に、府議会で粘り強く求めてきました。今年9月から15歳までの自己負担が減額されることとなります。

子どものいる世帯からの 国保証の取り上げをやめさせました

「子どもが病気になっても保険証がないから病院に行けない。風邪をひいたらしょうが汁を飲ませて我慢させていた」とのお母さんのお話に驚きました。子どもには責任がないのに病院に行けないのは問題だと議会で取り上げ、子どもの保険証を発行させました。



大型公共事業優先から 災害対策の優先に

100年に一度の災害が連続して発生する中、救援活動とともに支援制度を提案。住宅耐震助成制度の弾力的な運用で屋根の改修も適用になりました。

西高瀬川の改善へ

大雨が降るたびに汚水があふれ、臭くなる西高瀬川の改善を高橋昭三前府議会議員時代から京都府に求め続けてきました。

「京都府あんしん修学支援 制度」の創設で学費の軽減

保護者の学費負担が軽減できるようになり求めました。利用条件も年収300万円から500万円まで広げることができました。



下京区内に3つ目の 特養ホーム実現

下京区内での特養ホーム増設は長年の地域の願いでした。下京高齢者福祉をよくする会のみなさんと増設を求める署名活動などを行ない、法務局跡地に建設されました。

消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキッパリ対決

要求実現へさっそく行動



戦争法強行以来毎月行われている19日市役所前集会に参加(中央)



作家の澤地久枝さんが呼びかけた「3の日行動」に参加(右から2人目)



消費税増税への怒りや景気・まちづくりへの要望が寄せられています

かまの敏徳のお約束 住み続けられる下京区を 大型開発よりも社会保障、福祉の充実を

- 1 消費税10%への増税を中止します
暮らし、中小零細企業を応援します
- 2 国民健康保険料、
介護保険料を引き下げます
- 3 認可保育所を増設します
- 4 子どもの医療費を
中学校卒業まで無料にします
- 5 高齢者福祉施設を
増設します
- 6 「観光公害」ストップ、
訪れてよし、住んで良しの下京区を
- 7 北陸新幹線誘致など大型開発優先、
規制緩和のまちづくり中止、
災害に強い下京区をつくります
- 8 下京区は大飯原発から62km、
原発ゼロ、再生可能エネルギーの
社会を実現します



かまの敏徳さんにバトンタッチ

かまの敏徳さんは京都総評副議長、京都生活協働組委員長として、働くもの、パート、アルバイトの皆さんの労働条件、雇用の改善の先頭に立ちました。また、経済と中小企業政策に強い人です。どこまでも市民の暮らし応援を貫くかまの敏徳さんをよろしくお祈りします。

日本共産党 かまの敏徳さんに期待します。



憲法九条に自衛隊を明記することに強く反対します。憲法の崇高な理念を実現しようとする政治がこの国には必要だと思います。

一念寺 住職 谷治 堯雲さん



「私のせいや」とつぶやく労働者に、力を合わせようと呼びかけてきた、かまの敏徳さん。庶民を襲う政治に「あり得へん」が口ぐせ。馬力に期待しています。

京都総評 議長 梶川 憲さん

消費者運動 32年 労働運動 暮らし第一の思いを市政へ

甲子園を目指して野球に打ち込み、創意工夫と努力を継続することの重要性を学び、野球を通じて人生の土台を形成してきました。

京都生協で働き、安全で少しでも安いものを探してお母さん方、生活のためにダブルワークをされているパートのみなさんに接してきました。庶民に重くのしかかる消費税10%への引き上げは許せません。

毎日額に汗して働く方々のために、くらし応援の政治を今こそ実現すべきです。日本共産党市議会議員団の大黒柱、山中渡議員のバトンは何としても私に引き継ぎてください。全力で頑張ります。



日本共産党

下京区くらし・まちづくり委員長

かまの敏徳

市会

プロフィール ● 1964年生まれ54歳。立命館大学1部経営学部卒。京都生活協働組で32年。京都総評副議長、京都生活協働組委員長、全国一般京都地本委員長を歴任。趣味は野球、映画鑑賞、韓国語。

かまの敏徳

下京民報

日本共産党南地区委員会は、上記の見解を発表しました。
2019年2月発行 / 連絡先: 日本共産党南地区委員会 〒600-8837 京都市下京区壬生川七条上3 TEL: 075-371-9164